



いまべつ

No.227

3月定例会

令和8年5月1日発行

議会だより



令和8年度今別中学校入学式

【第502回議会定例会】

令和8年度当初予算	2～4
採決結果	5
議案審議中の質問内容	6
「町政を問う」では6議員が一般質問	7～13
令和8年1月から3月の議会の動き	14

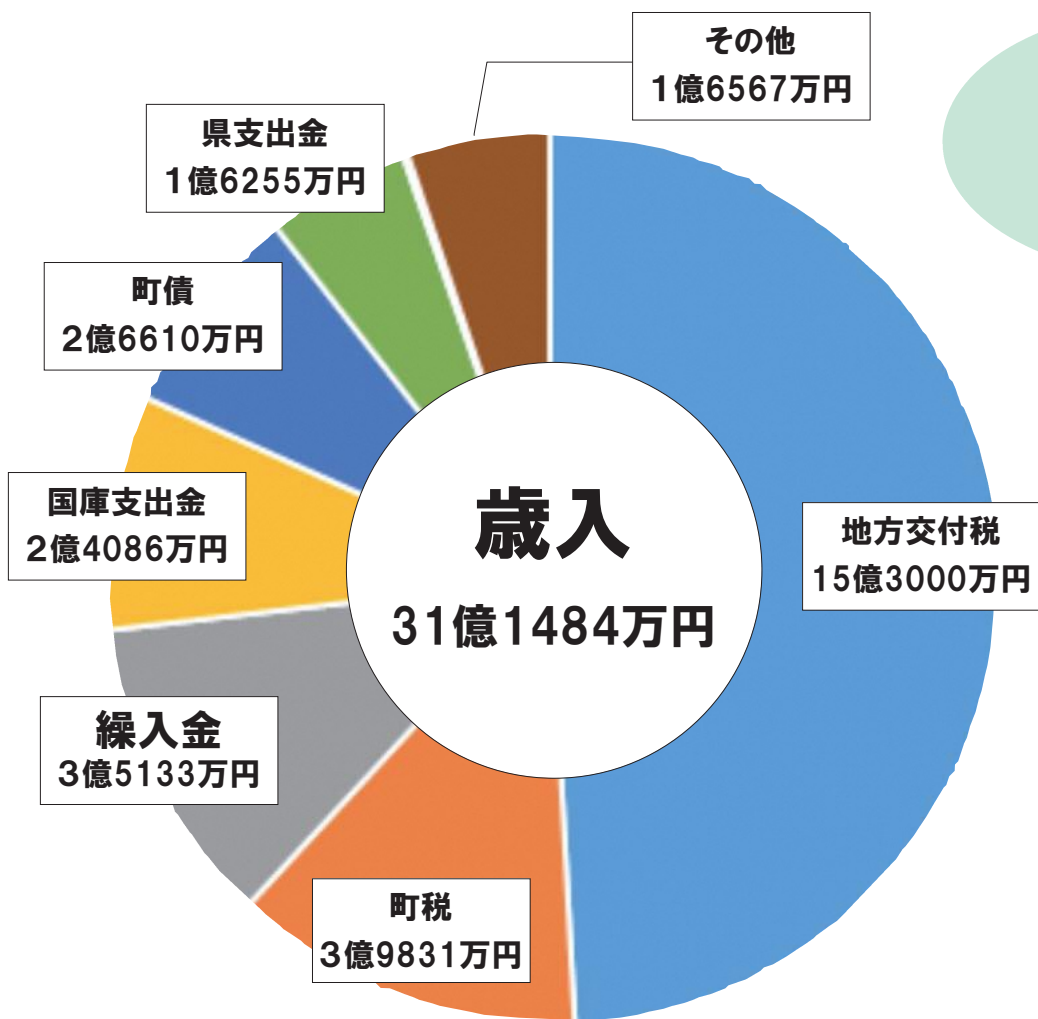
【編集後記】

議会広報委員会：委員長 本間 闘士	14
-------------------	----

一般会計

31 億円余

前年度比 約3900万増



第502回 議会定例会

令和8年3月6日から3月13日の8日間で行われた第502回議会定例会では、専決報告5件、議案23件の計28議案が提案され、全て承認、可決、同意されました。3月10日に行われた一般質問では6議員が質問を行い、町政に問いました。なお、提案された議案及び質問内容は次のとおりです。

(一) 一般質問の内容は8ページから13ページに掲載しています。

※端数処理のため、合計額が合わない場合があります。

令和8年度の一般会計当初予算は、令和7年度予算と比較し、3992万7千円増額の31億1484万3千円となりました。歳出予算が増額となった主な要因としては、令和7年10月の青森県人事院勧告に伴う人件費の増額や新規事業に係る予算計上が挙げられます。



令和8年度予算

新年度予算 主な財源

【歳入】

自主財源

- ・町税、固定資産税など

3億9831万円

- ・財政調整基金など

3億5133万円

依存財源

- ・普通交付税

15億3000万円

- ・国庫支出金

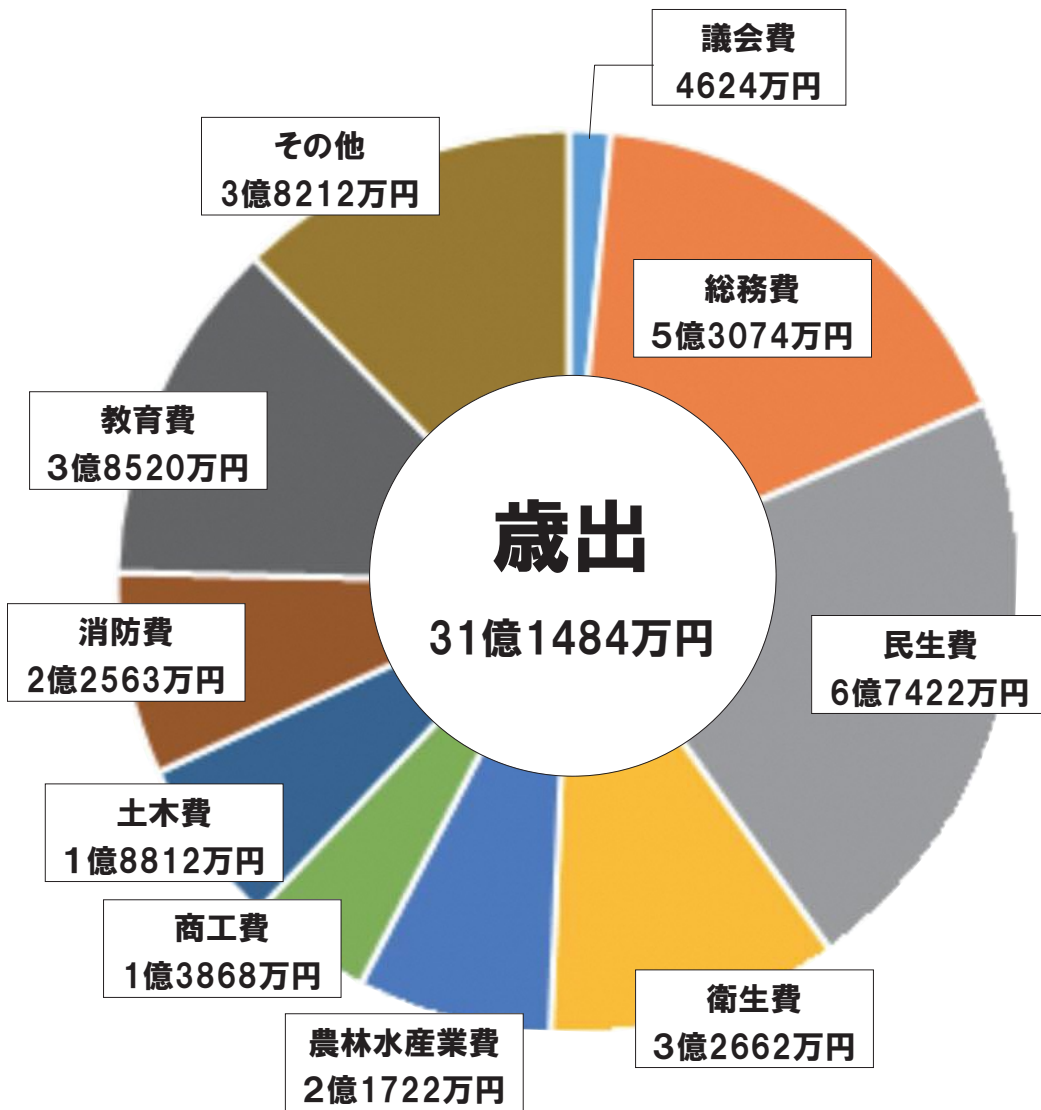
2億4086万円

- ・県支出金

1億6255万円

- ・町債

2億6610万円



- 令和8年度の主な事業
新規事業
道の駅周辺再開発事業
2404万8千円
- ・ 防災備蓄倉庫設置
備蓄用品 購入事業
2318万9千円
- ・ 小・中学校特別教室
エアコン設置事業
小学校 242万4千円
中学校 416万9千円
- ・ 今別中学校体育館
床改修事業
358万6千円
- ・ 継続事業
町営住宅改善事業
4802万9千円

【令和8年度ピックアップ事業】

道の駅周辺再開発へ！

道の駅周辺の再開発に向けた予算が計上された。再開発は令和8年度から令和12年度にかけて行われ、今年度は測量及び基本設計が行われる。

再開発の主な内容は、道の駅いまべつの増改築（レストランの拡大、休憩スペース、物産館の新設）、いまべつ総合体育館宿泊施設の増設、体育館横のお祭り広場への野外ステージ設置などが行われる予定。



防災用品備蓄倉庫を設置

防災備蓄倉庫の設置に係る工事費及び備蓄用品の購入費用が計上された。予算額は合計で2318万9千円。備蓄倉庫は海岸方面の地区を中心に、町内8地区への設置を予定している。備蓄用品は避難所へ設置するスポットクーラー10基、組立式の簡易ベッド170基、パーティション85基、投光器6基を購入する予定。

個別避難計画を作成

避難行動用支援者名簿に登録されている対象者（要介護3以上、身体障害1級以上、知的障害A、精神障害、難病患者、75歳以上のみ世帯）の全員分の避難所等への避難方法等を決める個別避難計画を作成する。予算額は35万円。

町営住宅改善事業実施

町営住宅改善工事に関する予算が計上された。予算額は4802万9千円。当工事は平成27年度から実施され、13・14号棟の36戸に内装、断熱工事、給水管の交換やユニットバスへの変更などの改善工事を行い、長寿命化を図る。残る8戸のうち、今年度は14号棟の3戸を工事予定。



議案審議中の
質問内容

(綿谷敏明議員)

問 新幹線等通学助成の拡充について、議会で十分な説明がないまま助成額(月1万円)が新聞に掲載された経緯と、その金額設定の根拠は?

総務企画課長 昨日の答弁で町長は議会答弁で支援の拡充には触れたが、金額には言及していなかった。その後、新聞記者の取材に対し、資料に基づき「月1万円」と説明したため記事に掲載された。助成額は、下宿代約5万円から食費相当3万円を差し引いた2万円の半額として設定されたものである。

(太田英一議員)

問 バス交通に係るNPO法人へのふれあい文庫の賃借料は月5万円という認識でよいか。また、契約書などの書類は交わしているのか?

総務企画課長 議員のおっしゃったとおり、賃借料は月5万円である。なお、入所にあたって、覚書を町とNPOの間で交わしている。

(小倉潤二議員)

問 脳ドック費用助成について、現在個人的に脳の定期検診を受けている町民もいる。そういった方でもこの助成を受けられるのか?

町民福祉課長 検診として受診している方であれば対象となる。令和7年度は40歳から65歳までを対象としていたが申し込みが少なく、現在の実績は1件であるため、今年度は40歳から70歳までを

対象とした。

(本間闘士議員)

問 「今別町創業支援事業補助金」について、「今別町特産品開発補助金」と併用することは可能か?

総務企画課長 「今別町創業支援事業補助金」は、空き家等を活用して法人を立ちあげたり、お店を始める場合にかかった経費等を補助するものである。今年度は1件の申請があった。なお、「今別町特産品開発補助金」との併用は出来ない。

(綿谷敏明議員)

問 熊捕獲用の箱罠の購入費用が計上されているが、令和7年度に新たに1基購入しており、今年度購入するのを含め町が所有する箱罠は合計で3台と認識でよいか。

産業建設課長 議員のおっしゃるとおり、令和7年

度に箱罠を1基購入し、今年度については箱罠を2基購入予定。そのほかドラム缶式の罠も含め、町が所有する熊用の罠は



4基となる。

問 (田中哲也議員)

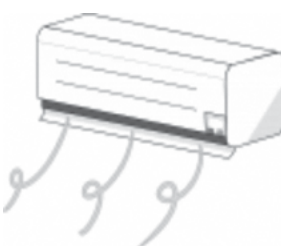
個別避難計画の作成について、作成の対象となる条件の一つとして身体障害者1級とされているが、1級に限定すべきではないのでは?

町民福祉課長 計画作成の対象者として、身体障害者1級、ほかには75歳以上のみの世帯など大まかに設定しているが、実際に避難が困難な方全てを対象としている。

(綿谷敏明議員)

問 今別診療所風除室エアコン等設置工事について、診療所の風除室は四方がガラス張りとなっていて、診療所の風除室は四方がガラス張りとなっていて、エアコンの設置は可能なのか。また、エアコンの設置以外にどのような工事が含まれているのか?

診療所事務長 エアコンの設置は可能である。これまで扇風機2台を設置していたが、ここ数年の猛暑により、風除室内の温度が30度以上となるため、猛暑対策として導入する。また、風除室内の電気を人感センサー付ライトに変更するための電気工事が含まれている。



町政を問う

一般質問

3月10日に行われた一般質問では、6議員が質問を行いました。

一般質問は住民の声や地域課題をもとに、行政に対して対応や方針などの説明を求めるものです。持ち時間は1議員2時間となっており、一問一答形式で行われます。

各議員の主な質問事項は以下のとおりです。



町一次産業の
振興は？

綿谷敏明 議員



第2青函トン
ネルの新たな
情報は？

小倉潤二 議員



各種災害等の
対応について

太田英一 議員



今年の豪雪に
ついて

中嶋恵 議員



除雪用ダンプ
増台と運転手
増員を！

本間闘士 議員



防災無線戸別
受信機の全世
帯設置を！

田中哲也 議員

綿谷 敏明 議員



1 町道の除排雪作業について

①今年度の除雪状況をどのように認識しているか？

町長 今年度は1月下旬から降雪が長期にわたり継続した状況もあり、1月28日に豪雪対策本部を設置した。対策本部の設置を受け、道路パトロールの強化や除雪委託業者への出動の指示を的確に行い、除雪作業を実施したと認識している。

再質問

一部の町道では除雪後に圧雪が厚く残り、車の走行ができないような状況があったがどのように考えているか？

A・Q 町一次産業の振興は？ 補助金等を活用し、計画的に振興を図る

産業建設課長

圧雪があり、その後の気温上昇によって車が走行しづらい区間があったことを町でも確認している。そういった状況が発生した際には、その日の夜に改めて除雪を依頼するなどした。来年度はパトロールを強化し、圧雪を少なくするよう努力するとともに、気温の状況等も確認しながら対応する。

②今年度の排雪作業はどのような体制で行われているのか。また、今年度の排雪状況に対する認識は？

産業建設課長 今年度も会計年度任用職員と職員が協力し、生活道路の機能維持と安全確保を重視し行った。

今年度は1月下旬から降雪が長期にわたり継続した影響もあり、集積場がすぐに満杯になってしまいう状況や、拡幅した道路幅がすぐ元の状態に戻ってしまう状況もあり、非常に困難な状況だったと認識している。



2 町一次産業の振興について

①どのような施策を行い、漁業振興を図るのか？

産業建設課長 漁協へ補助金を支出しており、主に種苗放流事業としてアワビ、ナマコの放流のほか、藻場造成事業としてコンブ、ワカメの種苗養殖や投石を実施し、ウニ等が生育しやすい環境を整備する事業に対して補助している。今後も漁協と協議を重ね、資源の管理及び安定漁獲が図られるよう対策を実施する。

②どのような施策を行い、農業振興を図るのか？

産業建設課長 当町ではほ場整備事業を推進しており、農作業の効率化や生産性の向上を図ってい

る。現在、二股地区の整備が完了し、大川平地区も令和8年度で終了する。また、令和8年度からは今別地区のほ場整備が始まる。今後も農業者の皆様が安心して取り組める環境づくりに取り組む。

③どのような施策を行い、林業振興を図るのか？

産業建設課長 西田地区にある町有地について、森林整備センター、森林組合青森との分収造林契約を締結し、今年度から3年をかけ植林する予定。また、毎年植樹祭を開催し、今年度も旧スキー場跡地にヒバとナラを200本植樹する。下刈りを行い、継続して森を守る活動を今後も実施する。

小倉 潤二 議員



1 第2青函トンネルについて

①これまでの経緯は？

町長 まず、町民をはじめ青森県民の機運醸成を図るため、令和4年度に第2青函トンネル構想実現に向けた今別町推進会議を立ち上げた。令和6年度には推進会議の委員による県知事への表敬訪問や、10月にはホテル青森において特別講演会を開催している。また、国会議員の勉強会にウェブにて参加し、活動報告を行っている。そして今年度は、国会議員による議員連盟が設立され、その総会に参加し、議員の皆

A・Q 第2青函トンネルの新たな情報に積極的に参加し、情報収集に努める

さんへの活動報告や意見交換を行った。

②9月定例会において、今年度中に北海道福島町と合同での陳情を行うとの答弁があったが、実際に行われたのか？

総務企画課長 国会議員連盟の設立総会に合同で参加する予定だったが、12月8日の地震の影響により、福島町が参加できなくなり、当町単独での参加となった。来年度は陳情を予定していないが、新青森駅や盛岡駅でのPR活動を計画している。また、今後も機会があれば勉強会に参加する。

総務企画課長 国の動向としては昨年、国会議員連盟が設立され、県議会においても勉強会が行われた。今別町推進会議としては、機会があれば積極的に国、県の勉強会等に参加し、意見交換や情報収集に努める。

総務企画課長 今回の停電は人命にも関わるとの指摘を受け、電力会社へ確認した。今回の停電は襲月、砂ヶ森、奥平部地区の168戸の停電である。原因は高圧線を支えている線が強風により断線し、高圧線を支えている金物に接触したことによる漏電とのこと。また、今後の対応方針について確認したところ、役場庁舎など重要施設が停電した場合や、復旧に時間を要する停電が発生した場

合、電力会社から総務企画課長へ連絡が来るようにした。必要に応じて防災無線等での周知や、避難所の開設を依頼する連絡が来るようにした。そのほか、電力会社の停電アプリを活用して停電している地域と戸数を確認できるような体制とした。

3 県道14号線今別蟹田線について

①小国峠の進捗状況は？

産業建設課長 県側の事情により今年度の勉強会の開催が遅れており、新たな進捗はない。しかし、県の予算案に改修に係る予算が計上されたため、近々開催される勉強会にて説明があり次第、議員の皆様へ情報を共有する。

太田 英一 議員



A・Q 各種災害等の対応について 関係機関と共に

高齢者世帯の巡回を行った

等が整っていれば閲覧できる状況である。

③災害時の職員初動マニュアルは作成されているのか？

総務企画課長 災害時の職員初動マニュアルは作成されていない。原則として自主参集としているが、動員については防災計画及び以前作成した動員計画に基づき、現在は動員している。

2 町の福祉政策について

①青森県東方沖地震発生時、行政対応は高齢者等を優先に行われたか？

町民福祉課長 地震発生後、役場、社会福祉協議会などで高齢者世帯の巡回を実施した。また、翌日には一人暮らしの高齢者を中心に、電話での安否確認を行い、連絡がつかない世帯には訪問し、安全を確認した。

①今後の福祉政策に活用できる知見を得られたか？

町民福祉課長 今回の地震における対応では優先行ったが、これまでより効率的かつ正確に安否確認を行うことができた。

2 新年度予算の概要について

①津軽線廃止に伴う交通体系に関する体制整備、予算措置は？

町長 現在今別町、外ヶ浜町、県、JRの四者によるデザイン会議を立ち上げ、NPO法人設立準備ワーキンググループ、運行ダイヤ形態を検討する自動車交通ワーキンググループ、撤去・地域活性化ワーキンググループでの検討内容について、

令和9年4月からの新たな交通体系の確立に向け協議している。

また、新年度において新たな交通体系の整備に係る予算措置はしていない。

1 災害時等の対応マニュアルについて
①災害時の基本体制マニュアルの根拠は？
総務企画課長 基本は地域防災計画の配備基準を基に、風水害等の災害発生時、または発生する恐れがある場合、配備体制を整えている。

②最新の防災計画、水防計画等の配布状況は？

総務企画課長 最新の計画は令和2年3月策定の計画であり、今別町防災会議条例で定められている策定当時の委員に配布している。また、計画は町HPにも掲載されており、インターネット環境

④避難場所設置マニュアルは策定されているのか？

総務企画課長 避難場所等の設置マニュアルは策定していないが、全世帯に配布している防災マップに指定避難所及び指定緊急避難所の一覧を掲載している。

また、現在高年齢者等の避難支援として、個別避難計画の策定に向け、準備を進めている。

今後関係機関との連携を強化し、迅速に対応できる体制づくりに努める。

②高齢者世帯等に関する体制整備や予算措置は？

町民福祉課長 新規事業として、加齢による聴力の低下が著しい高齢者に対し、補聴器購入に対する助成金を計上している。

また、水道スマートメーターを活用した一人暮らし高齢者等の見守りを開始し、水道担当課と見守り体制を強化していく。

中嶋 惠 議員



A・Q 今年の豪雪について 町内会等と連携し対応

1 今年の豪雪に関する
反省点について

①除雪した雪の集積場所
は十分だったか？

産業建設課長 集積場所は昨年と同様の規模で確保していたが、例年になり、長期にわたる降雪により、確保した集積場所がすぐに満杯となり、十分な余裕をもって排雪を進めることが難しい状況が発生していた。来年度以降も予想より多い降雪が予想されるため、住民の皆様様の生活に支障をきたすことのないよう対応する

再質問

今年度は集積場所として旧小学校グラウンドを使用していたがどうだったか？

産業建設課長 しゅんせつ工事(※)等の関係で、海に雪を捨ててはいけないうとの指示があったため、今年度から旧小学校グラウンドを使用した。気温が低ければ問題はなかったが、気温が上がると重機が埋まってしまうため、気温が上がる時には別の場所を使用するなど来年度は検討が必要と考えている。

※しゅんせつ工事とは？

海や川、湖などの水底を掘り下げ、水深を確保する土木工事のこと。「浚渫船」と呼ばれる特殊な船舶を用いて水底の土砂や泥(ヘドロ)を掘り起こし、別の場所へ運搬することで水深を深くしたり、水路の形状を調整することで、船舶の航行や土地の造成や環境改善に役立てられている。

②排雪をもう少し早い時期に実施してほしいとの声も聞こえていたが、排雪の時期についてどのようになっている。

産業建設課長 排雪の時期は例年どおりに準備をしていたが、寒波による降雪が長く続いた影響もあり、町民の皆様が不便

を感じる道路状況が発生していたと認識している。来年度以降も予想以上の降雪が予想されることから、雪寄場の排雪も含め早めに準備を進めていきたい。

③今年の豪雪で当町にも災害救助法が適用され、町内会と協力して、屋根の雪下ろしなどが実施されたが、どうだったか？

総務企画課長 豪雪による1月29日付けでの災害救助法の適用を受け、各地区及び町内会へ協力を依頼し、それぞれの地区の相談事案について対応いただいた。今年の豪雪は各地区及び町内会との連携によって、大きな被害もなく乗り切ったと認識している。



本間 闘士 議員



1 除排雪について

① 今後の大雪に備え、雪捨て場の増設が必要では？

産業建設課長 除排雪用雪捨て場の増設は用地の確保や周辺への影響、費用面、運用方法など多角的な検討が必要となる。大雪に備えての雪捨て場の増設は重要な課題として認識しているため、今後も検討する。

再質問

雪の集積によって通行の安全確保に配慮が必要と思われる箇所について、危険箇所の把握はしているか？

Q. 除雪用ダンプ増台と運転手増員を！
A. ダンプの更新と併せて検討する

産業建設課長

雪の押場にすることで道路が狭くなっている箇所などは町でも確認し、対応していた。来年度に関しては空き地の所有者へ確認を取るなど、新たに使える場所の確保に向けた作業を既に始めている。

② 国道や県道において、担当業者の事情などにより除排雪の対応が困難な場合、町が応急的に対応できるような体制を検討できないか？

産業建設課長

事業者や県の対応が間に合わない場合、町が必要に応じて除排雪作業を実施しなければならぬ場面が発生することもあるかと思うが、現状の人員でどこまで対応できるかなどの問

題もある。緊急出動の条件や体制など、関係機関と協議の上、今後検討する。



① 排雪用ダンプの増台や運転手の増員による排雪能力向上について、町の見解は？

産業建設課長

町では4トンダンプ3台を所有し運用しているが、更新時

期を迎えており、今後更新が必要となる。ダンプ車両の増台や運転手の増員が作業の効率化につながることは理解しているが、費用面や人員確保の難しさから、現状は対応が難しい状況となっている。ダンプの更新及び増員も含め検討する。



2 若い世代への定住促進と高校通学支援について

① 町外へ下宿等をして通学する生徒の保護者への支援制度創設について、町の考えは？

町長

現在町では、通学支援として定期券購入に対する助成を実施しているが令和8年度より、下宿等による通学者に対して支援したく、新幹線等通学助成を拡充し、令和8年度予算に計上している。

田中 哲也 議員



1 防災今別広報（町内放送）について

①全世帯への戸別受信機設置の考えは？

総務企画課長 現状、全

世帯の戸別受信機設置は考えていない。放送が聞きとりにくいなどの問い合わせがあった場合、随時そのお宅に伺って受信機検査を行い、聞こえない場合のみ、戸別受信機の設置で対応している。

また、戸別受信機は1基あたり約10万円であり、全世帯への設置となると1億円規模の事業となるため、今後も個別での対応を考えている。

A Q 防災無線戸別受信機の全世帯設置を！
個別での対応を考えている

再質問

前回同様の質問をした際、設置戸数は35戸との答弁があったが、現在設置戸数の増減はあるか？

総務企画課長 設置戸数は増減していない。

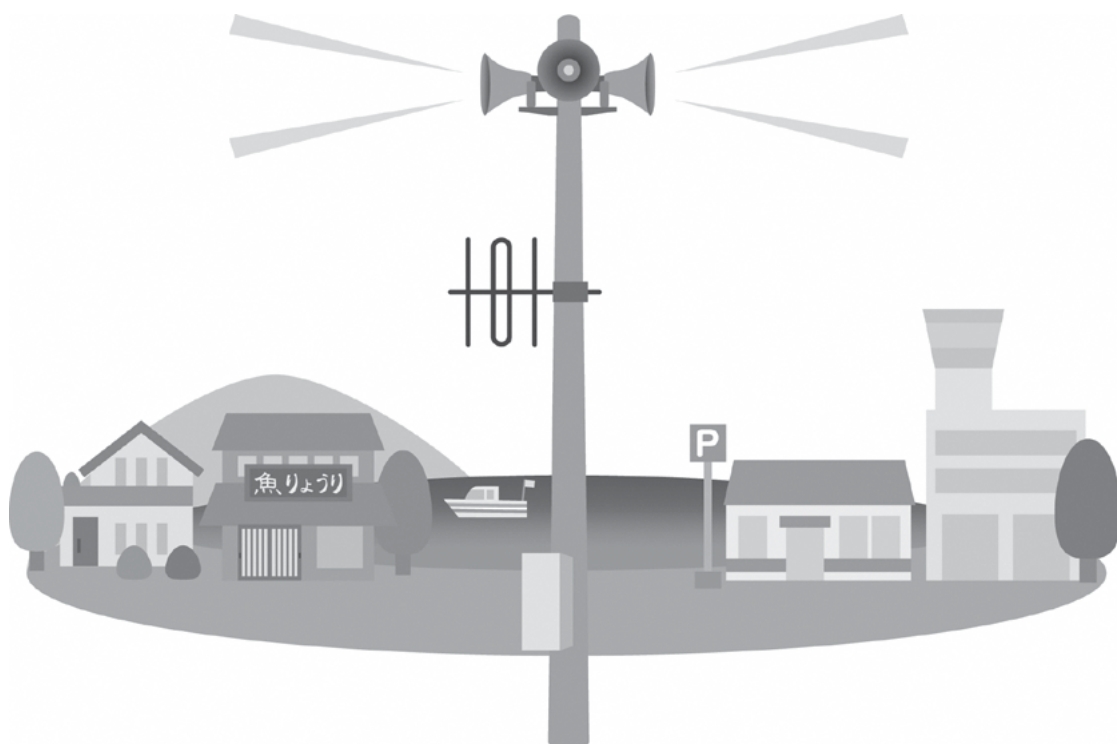
再質問

現在は壁掛け式の戸別受信機を設置していると
思うが、我々議員が視察してきた自治体ではタブレット式の受信機を使用していた。タブレット式であれば、例えば茶の間
に置いたり、寝室に持つていくこともできる。タブレット式の受信機を活用する考えはあるか？

総務企画課長 県内においてもタブレットを使用

している自治体もある。しかし、そのタブレット

は活用されていないのが現状である。また、議員の皆様が視察した自治体についても調べたところ、導入当初は加入率が高かったものの、現在は加入率が減少しているとのこと。さらにタブレットも多額の費用を要すると考えられ、また町内に環境が整っていない状況であるため、今後検討が必要となる。



議会の動き

8年1月1日～3月31日

1月

14日 議員全員協議会

20日 例月出納検査

22日 東津軽郡町村議会議長会役員・事務局長会議（青森市）

2月

19日 議員全員協議会

20日 例月出納検査

27日 青森県町村議会議長会 第76回定期総会（青森市）

3月

3日 議会運営委員会

6日～13日 第502回今別町議会定例会

（7日、8日は休日のため休会、9日は今別

中学校卒業式のため休会）

23日 例月出納検査

25日 令和8年第1回青森地域広域事務組合議会定例会

（綿谷議員出席）

（中嶋議員欠席）

議会を傍聴しませんか

町の動きを知る良い機会です。多くの方々が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化につながります。

傍聴人は先着20名となっております。

※傍聴される方へのお願い

本会議中の録音、写真撮影は今別町議会傍聴人規則第10条により禁止されています。

6月議会定例会は、6月5日から6月9日までの5日間を予定しています。

編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今号では令和8年度予算を審議する3月定例会の様をお届けいたしました。新年度の予算は、町のこれから暮らしや事業の方向性を大きく左右する極めて重要なものです。それだけに今定例会では、各議員がそれぞれの立場から住民の皆様の声を背負い、活発な質疑や提言を行いました。こうした議論の積み重ねが、より良いまちづくりにつながるものと感じております。議会はこれからも行政とともに町政の両論として、皆様の信頼に応えられるよう一層の研鑽を重ねてまいります。

風薫るさわやかな時期ではあります。が、寒暖差もございませぬ。どうぞお体にはくれぐれもご自愛いただき、健やかな日々をお過ごしください。

議会広報委員長 本間 闘士

議会広報委員会

委員長…本間 闘士

副委員長…綿谷 敏明

委員…中嶋 惠

委員…本郷 良克